

# AUDIENCE 1+1 V2



●形式：フルレンジ ●ユニット：7.6mmフルレンジ×2、バッシブラジエーター×2 ●推奨アンプ出力：50W以下 ●インピーダンス：8Ω ●再生周波数：22Hz～43kHz ●出力音圧レベル：87dB ●外形寸法：150W×200H×250Dmm ●重量：3.2kg

## 浸透力や鮮度感、分解能を持たせつつ、音楽を豊かに印象的に聴かせる

文：鈴木 裕 Yutaka Suzuki

オーディエンスはアメリカのメーカーで、日本市場には輸入代理店を変更して再登場した。スピーカー、オーディオケーブル、クリーン電源などをラインナップしている。1+1 V2はコンパクトなスピーカーで、その設計思想から個々のパーツまでオリジナリティに溢れている。特徴の1番目はフルレンジのドライバーユニットをバツフル板とバックパネルに2個装着、パイボール作動させている点だ。チタン合金製の振動板の直径は3インチ(76mm)。ロングスト

ロークで、背面側のスムーズな空気の流れなどの特徴を持っている。低音は左右のサイドパネルに装着されたバッシブラジエーターによって増強。直径は4インチ(100mm径)。アクティブに動く振動板とバッシブに動く振動板が3対4というサイズで、これが絶妙な低音を生み出している。クロスオーバーネットワークを持たないことによって、その高い浸透力や鮮度感、分解能を持たせつつ、音楽を豊かに印象的に聴かせる能力は相当に高い。

### 得意な音楽ジャンル

アコースティックな楽器全般や人の声などの表現はさすがで、そうした要素のあるポップスやロック、そしてクラシックも小編成のものからオーケストラまでを楽しめてしまう。バッシブネットワークが入っていない分、反応は俊敏で、音楽に対するリアリティも高い。また、コンサートホールやライブハウス等の空間表現力も素晴らしい。小音量再生でも音の形が崩れないのも見事で、ボサ・ノヴァなどをひっそり聴いても満足できる。

### ここがすごい!ここが惜しい!

エンクロージャーの造りや仕上げも良く、モノとしての魅力も持っている。なかなか弱点を上げにくいのが、大音量再生はこのサイズだときついだろう。また、低域はバッシブラジエーターなのにダラダラがりに伸びているもの、50Hz以下のレンジはさすがに再生は難しい。あと、音の純度がきわめて高いので、アンプのクオリティや駆動力を露わにしまう。ただしマニアにとってはまさにその点がやる気にさせてくれるスピーカーでもある。